

福井市自然史博物館

博物館だより

FUKUI CITY MUSEUM OF NATURAL HISTORY NEWSLETTER



Photo by Yasunobu Yoshizawa 2006.6.10

福井の自然史情報 おとみ 小当見金山跡

旧美山町にある、小当見金山の坑道跡の様子です。
金鉱の母岩は、新第三紀中新世の安山岩質凝灰岩類で、
昭和12年ごろまで採掘を行っていました。坑道はしっかりと残っており、
ところどころ含金石英鉱脈の名残も見ることができました。
ひんやりとした坑内には、キクガシラコウモリが生息していました。



第62回特別展

THE EXCEPTION OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY

-Go!Go!ゴールドin福井

見る、さわる、体験する、金のすべてがここにある

2006年7/21(金)-8/31(木) ※月曜休館

「金」の性質と人の関わりを、体験を交えながら学べる特別展示!金の不思議な性質について、「ゴールド選隊キラッシュ」が楽しく解説してくれるよ。



我々は、選ばれし地球の宝・ゴールド選隊 キラッシュだ。これから、不思議な黄金の 世界をみんなに紹介する。よろしく!



金はさびない

さて、人間たちは、なぜ金が好きなのだろう。それは、どうも金の性質にあるらしい。それは、決してさびることなく、ずっと変わらず輝きつづけるということだ。このため、「永遠」、「不変」のシンボルとされるようになった。

「珍しい」ということもポイントだ。少ないものだからこそ大事にされている。手に入れがたいということが、人間の心をくすぐるのだ。そして「栄光」のシンボルにもなっている。





左:元文小判(げんぶんこばん) 右:十善森古墳(じゅうぜんの もりこふん)[若狭町]から出 土した冠の復元 [協力:福井県立歴史博物館]



金はやわらかい

金といえば、ジュエリーを連想する人も多いだろう。しかし、純粋な金だけでは、やわらかすぎる。なにしろコインくらいの金をたたいてのばすと、たた

み1枚の大きさにまでのびるというのだから驚きだ。 加工するには便利だが、ジュエリーにして、ふだん 持ち歩くには変形しやすくて不向きということに なる。

そこで、別の金属を混ぜて合金にするとかたくなることを利用する。それで、強化されたのが、イエロ

ーゴールド、ピンクゴールド、ホワイ トゴールドというわけだ。

何が混ぜてあるかって?それは、 秘密だ。「Go!Go!ゴールド」を見に きたときにこっそり教えてあげよう。



金は重をい

金は水の19倍の重さがある。と言われてもピンとこないだろう。どんなに重たいか、実際に持ち上げてみればわかるぞ。まぁ、持ち上がればの話だが・・・腕をきたえて、Go!Go!





金はどこにある?



[協力:九州大学総合研究博物館]

実は、金は地球のどこにでも ある。ただ、地面の中(※注) で1ppb (10兆分の1)と、あ まりにわずかなのだ。そのく らいでは、金を取り出しても 費用がかかりすぎる。採掘の 対象となるためには、10ppm _{金を含んでいるのはどんな石かな?} (10万分の1) くらいは必要 だと言われる。つまり、1万倍

以上も金が集まらないと、金を取り出しても元が取 れないわけだ。(※注:正確には地殻平均)



金と水の意外な関係

では、どこに金が集まっているのか。まず、川だ。 川で大きな金塊(自然金)が発見されたこともある。 見つけた人間は、さぞかし興奮したことだろう。

川に金があるなら、どこから流れてきたものか気 になってくる。山の中にも登鉱岩があるのだ。

どんなところに発鉱岩があるのか調べてみると、 地下を循環する熱い水が金を溶かして運んでいる ことがわかってきた。岩の割れ目を、金を溶かした

熱い水が通り過ぎるとき、金を沈殿 させているのだ。つまり、登鉱岩は、 地下水がつくり、雨でけずられ、川 にたまっていくのだ。

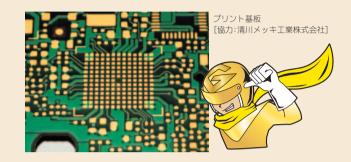


世界最大級の自然金(レプリカ) [協力:九州大学総合研究博物館]



産業にも使われる金

金には、電気や熱を伝えやすいという特徴があり、 パソコンや携帯電話の中にも使われているぞ。かざ りやお金だと目立つけど、マシンの中でもひっそり と使われているのだ。





砂金のとり方をマスターしよう

なんと、今でも砂金はとれるそうだぞ。どんな場 所をねらって、どのようにしてとればいいのだろう か。それは「Go!Go!ゴールド」会場に来ればヒント があるぞ。いっぱい楽しんで、どこかの川で探して みてはどうだろう?この夏の自由研究になるかも!

※砂金採り体験に参加される方は別途200円必要です (荒天時は中止します)



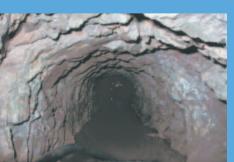
(西本昌司[名古屋市科学館]・再編集:安曽)



福井でも金がとれたんやざ!

金といえば、佐渡金山?菱刈鉱山?いやいや もっと身近なところでも金を採っていたのだ。 知られざる福井の金山や、砂金がとれた場 所を一挙大公開。みんなの近くにお宝 が眠っていたのかも・・・





▲小当見(おとみ)金山跡 [福井市]

角鹿の蟹

角鹿 尚計 (友の会会員・福井市立郷土歴史博物館)





「角鹿」という苗字を日常使用 していると、よほど蟹をばくば く食べているように、からかわ れることがある。もちろん、そん なことをいうのは県外の友人で、 福井県も北陸トンネルを北に抜 けた途端そんなことは云われな くなる。云われなくなるのは良 いが今度は苗字を正しく書いた り読んだりしてくれない。「角賀」

と書かれれば、目出度いことだと悦び、「つ のしか」と呼ばれればハイと元気よく返 事をするようになった。さて、どうして 私の苗字と蟹が結びつくのか、『古事記』 を開いたことのある人ならご存じの筈。 応神天皇段の次の歌謡に典拠がある。

この蟹や いづくの蟹

ももつたふ 角鹿の蟹 横さらふ いづくに至る いちぢ島 み島にとき みほどりの かづきいきづき

(以下略)

特に冒頭は口ずさ まれることが多い。「角 鹿」は、現在の「敦賀」の 古い表記で、地名説話によ るとわが先祖だとされている「ツ

ヌガアラシト」という渡来人の名前に 因む。この歌はホムダワケノミコト(応 神天皇)が近江行幸の道中、丸邇のヒフレ オオミノミコトの娘と出逢ったその「ほ がひ」(祝福)に謡われたものとされるが、 いったいこの蟹の種類が以前から気に掛 かっていた。敦賀でもこの蟹をめぐって 茶話が盛り上がることもあると聞く。

蟹の歌謡は『万葉集』の巻16の「ほがひ ひと」の歌にもある。この「ほがひひと」 の歌は二首(長歌)あって、前の一首が「鹿 の為」に、後ろの一首が「蟹の為」に痛(い たみ)を述べた歌だ。この「蟹の為」の歌 に「葦蟹を大君召す」とある。ここにヒン トがありはしないか。大君つまり天皇の 召す蟹は特別なごちそうである筈、ここ に「葦蟹」とあるのは、「葦辺に住む蟹」で ある。角鹿の蟹も海の蟹ととらえるのは 固定概念にとらわれすぎているのかもし

れない。越前敦賀というとすぐにズワイ ガニを思い浮かべるが、案外淡水域に生 息する蟹かもしれない。「百伝い」(遠く から) 「みほどりの かづきいきづき」(カ イツブリの様に潜ったり上がったり息つ ぎながら)やってきた「角鹿の蟹」は水深 50~600メートルに生息するような蟹 ではないだろう。と、蟹のようにブツク サ云っている。だからまだまだ「角鹿の蟹」 の同定には時間がかかりそうである。



博物館からの おしらせ



特別展開催期間 (2006年7月21日(金)-8月31日(木)) 中の入館料は、 おとな 200円になります。

また、砂金採り体験に参加される方は、別途200円が必要になります。

《あとがき》-

今回は今夏の特別展にあわせて、ゴールド特集とな りました。展示を作製するにあたり、足羽川で砂金採 りの達人に採り方を教わって大粒の砂金を見つけたり、 小当見金山や杉谷金山などの福井の金山跡に出かけ、 こんな身近にも!という発見がたくさんありました。 普段気にしていないけれど、身近にはいろいろな発 見が隠れています。ぜひみなんさんも、自然に目を向 けて楽しい発見を探してみてください。(安曽)

《交通案内》

【電 車】

福井鉄道福武線 公園口駅

【バス】

京福バス赤十字病院線(72号系統)公園下バス停 コミュニティーバスすまいる:西ルート(足羽・照手方面) 愛宕坂バス停 いずれも徒歩10分です。

【徒 歩】

JR福井駅から徒歩30分

《ご利用室内》 -

開館時間●午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休 館 日 月曜日(祝日は開館)、国民の祝日の翌日、 年末年始

入館料 制 おとな100円 (20名以上の団体は半額) こども(中学生以下)無料



本誌は再生紙を使用しています。